

**Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 2月 24日公開**  
**アメリカ大使館5月に移動を発表、シリアの惨状**

.....

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤよりライブを行なっています。イスラエルは旅行者でいっぱいです。私は今、テネシー州の Grace Chapel の Steve Berger 牧師とツアーを引率していますが、参加者 56 人の内、ほとんどの方が初めてのイスラエルです。イスラエルは実に美しく、緑でいっぱい、小川は水があふれ、花々や、それから渡り鳥も見ました。今、鳥たちはアフリカからヨーロッパへ戻り始めているのです。フォー溪谷では、昨日の時点で一つの湖で 51,000 羽の鶴が数えられています。首の長い白い鳥です。それが現在、ヨーロッパに戻る途中で、絶景です！それだけでなく、旅行客の数は記録を更新中で、それも地球の至る所から訪れています。観光産業はどんどん成長中、私たちはとても嬉しく思っています。ある人たちは、数週間前に F-16 を撃墜して、何かこの状況を変えられると思ったようですが、それは大間違いでした。国境の向こう側では、人々が狂ったように殺し合っていますが、ここでは、最も素晴らしい四半期の一つだったと思います。経済は、四半期で 3.6% 以上成長しました。これは、かなりすごい事です。イスラエル通貨は、公式に現在世界最強の通貨です。これは、特筆すべきことです。

昨日、空港でツアーの皆さんをお迎えしていた時に、エチオピアから来ていた団体の方が話しかけて来てくださったのです。彼らは、スウェーデンのストックホルム在住のエチオピア人の方々に、ビホールドイスラエルで、わたしのライブや聖書の教え、情勢アップデートをご覧になっているのです。私はかなり驚きました。エチオピアの方が、スウェーデンに住んでいて、私を見てくださっているなんて。しかも、彼らはただ、私を励まし、祝福するために、わざわざ声をかけて来てくださったのです。皆さんのサポートに心から感謝しています。本当に励まされますから。特に、敵の攻撃が激しくて、一日に何度も、「本当にこれを続けて行くのかどうか」自問自答しているようなときには、尚更です。とても感謝しています。

皆さん、ガリラヤより、シャローム。こんばんは、アミール・ツアルファティです。ガリラヤ湖の地域からレポートします。現在、少し前に到着したツアーの皆さんと共にホテルにいます。今日はアップデートするべき、重要な事がいくつかあります。まずは、お祈りから始めたいと思います。では、祈りましょう。

お父様、感謝します。あなたの御言葉、あなたの約束、あなたの愛と、あなたの情熱に感謝します。また、お父様、あなたの中、あなたの御言葉の中に、私たちの拠り所があり、そこで私たちは慰めを得られます。あなたの御言葉が、私たちを洗い清めてくださいます。あなたの御言葉は真実です。ですから、あなたに感謝し、あなたの御言葉に感謝します。また、私たちの周りで目にしている事に感謝し、あなたがあなたの御言葉を通して、私たちにくださった知恵に感謝します。預言者たちを通して、あなたがくださった御言葉で、私たちは、自分たちの生きている時と季節を理解します。お父様。あなたは、あなたの子どもたちに、あなたのご計画を知らせてくださいました。また、あなたは、あなたの子どもたちが、これから起こる事を理解して、しっかりと目を覚ましているように、他の人たちのように眠ってしまわないように、と言われました。お父様、あなたに感謝し、あなたを祝福します。私たちは出来る限り、あなたの御言葉に近づき留まります。私たちは憶測せず、作り話をせず、日時を定めたりはしたくありません。私たちはただ、現在起こっている事を、あなたの御言葉のレンズを通して知りたいのです。お父様、全てを通して、あなたの御名が讃えられますように。そして、

私たち神の民が、ますますあなたに引き寄せられますように。また、この終わりの時、私たちが大胆に、出来る限りの人に、あなたの御言葉を伝えられるように助けてください。あなたに感謝し、あなたを祝福します。この全てを、他にない、最も美しい御名、イスラエルの聖なる方、2000年前にここを歩かれた方、ガリラヤの方、ユダ族の獅子、ユダヤ人の王、イスラエルの王であられる方、異邦人の啓示の光、イスラエルの民の栄光であられる方、イエシュア、イエスの御名によって、祈ります。全て、神の民は言います。

アーメン。

アーメン！

さて、皆さん、感謝します。God bless you!アミール・ツアルファティです。ガリラヤより、この24時間の間に起こった事を簡単にアップデートしたいと思います。まず、恐らく皆さんも、もう聞いておられると思いますが、私も昨日報告した件、アメリカ政府国務省が象徴的行動を決断しました。ただ一般にアメリカ大使館をエルサレムに移動するというだけでなく、それを2018年5月14日に行う、というのです。この日は、イスラエルの独立宣言から70周年記念、ダヴィド・ベングリオンがテルアビブ美術館で、イスラエル独立宣言を読み上げた日からちょうど70年です。この同じ日に、トルーマン大統領が「直ちに、アメリカ合衆国はユダヤ人国家を認識する」と宣言しました。彼は、国の名前すら分からなかったのです。だから彼は、「ユダヤ人国家」と書いて、そして、ようやく名前を聞いてから、そこに×をして、「イスラエル国」と書き、「ハリー・トルーマン」と手書きのサインをしたのです。ですから、これは非常に特別な事なのです。アメリカが、イスラエルを国家として認識してから70年後、アメリカは・・・多分、1948年以降すぐにするべきであったのですが、それを実行するのです。つまり、大使館をイスラエルの首都エルサレムに置く事です。大使館用の建物はまだありませんが、比較的新しい領事館の建物が既に数年前からあって、領事館が使われるのでしょうか。エルサレムの南西にあるものです。そこが大使館として初めに使われます。しかし同時に、テルアビブの大使館も引き続き活動します。外交官があちらに住んでいますし、職員もあちらにいますから、エルサレムの総領事館は引き続きビザやパスポート等の領事の任務を担います。ということで皆さん、アメリカ合衆国は、1948年5月14日のイスラエルの独立からちょうど70周年めに、正式に象徴的にエルサレムに大使館を移転します。これに関して、大声で聞こえてくるネガティブな声は二つだけ。一つはもちろん、パレスチナです。彼らは、激怒しています。パレスチナ人にとって、1948年5月14日は“ナックバ”。これはアラブ語で“大惨事”の意味で、私たちの独立は、彼らの大惨事です。面白いと思いませんか？神が私たちを故国に戻され、神が私たちにこの地を与えられたのです。それが、他の人にとっては大惨事です。同じ神を信じていると言い、その神が、私たちを故国に戻したのに。私には、全く理解出来ません。皆さん、覚えておいてください。これは聖書的で、また、聖書的であるだけでなく、事実としても、ユダヤ人がホロコースト（ユダヤ人大虐殺）を生き残って、物理的に故国に戻り、国を始めて70年後が、現在のようにになっているなんて、不可能です。これはあり得ないことで、どの教科書もイスラエルの奇跡を説明できません。人々は忘れがちですが、ユダヤ人の帰還、イスラエルが故国に戻ったのは、人の業ではなく、神の御業です。聖書には、エゼキエル37章の干からびた骨の谷の部分で、こう告げています。

14 …主であるわたしがこれを語り、これを成し遂げたことを知ろう。…」

(エゼキエル 37:14b)

つまり、主はこう言っておられるのです。

「わたしは、あなたがたにただ約束しているだけでなく、あなたがたを連れ戻す。わたしが、それを行う。」  
言い換えれば、ユダヤ人が故国に戻った事に問題があるなら、…“彼らの故国”です。聖書には、イスラエルの地に、と書かれていますから。もしそれに問題があるなら、私たちに言わないで、彼に言うべきです。こんな復活は、神にしか出来ません。三つの事の復活です。

- ① 荒地となって死んでいた地の復活、
- ② 三分の二が、アドルフ・ヒトラーによって既に殺されていた国家の復活、
- ③ それから、言語の復活です。それで異なる80ヶ国から集まった人たちが、互いにコミュニケーションを取れるようになったのです。

イスラエルは奇跡です。ですから私たちは、これを自分の賞賛にするわけにはいかないのです。神の力なしには、出来ませんから。初代首相は、全く聖書を信じていないユダヤ人でした。正統派ユダヤ人ではなかった、とでも言いましょうか。しかし、ダヴィド・ベングリオンは次のように言いました。

「中東で、奇跡を信じない人は、実在論者ではない。」

イスラエルは、奇跡が実在する事の最大の証拠です。ここでは、それが日常です。ということで、我々は故国に戻り、今は都も取戻し、そしてついに、アメリカ合衆国がそれを認識しました。パレスチナは激怒しています。ただ大使館を移転させるだけでなく、自分たちが“大惨事の日”と呼んでいる日に、それをするのであります。気を悪くされたのなら、謝りますよ。しかし、大使館を移転するのに、私たちの独立した日以上に、良い日はありません。そもそも、トランプ大統領の「大使館をエルサレムに移転させる」という考え方自体が、イスラエルの70周年記念日に合わせるためだったのです。ですから、彼が外交官たちから受けたアドバイス、その多くが牧師達でしたが、70年というの是一世代の区切りになるのかも知れず、これを行うなら、この年以上に最適な時はない、というものでした。2017年に出された宣言は、1967年のエルサレムの再統一からヨベルの年、そして今回は、イスラエルが生まれてから70年です。これは、非常に大きな意味があります。

次に、大使館が移転するからと言って、たとえば携挙が起こる、とか、私はそこまで飛躍しません。事実、皆さんに言うておきますが、くれぐれも日時を定めないようにしてください。物凄い事が起こっていて、それらが物凄い展開を遂げています。また、聖書預言がこれまでになかったほどの速度で成就しつつあって、それらを私たちは目撃しています。しかし、このような出来事によって、何事においても、日時を定めたりしないように、私たちは十分に注意しなければなりません。昨日私は、ディボーションのメッセージまで書いてフェイスブックに投稿したのですが、イスラエルがバビロン捕囚に送られた時、預言者エレミヤは、その期間はきっちり70年間だ、と言いました。しかし、この70年の間、偽預言者や占い師、魔術師たちがこぞってイスラエルに「70年より前に故国に戻る」と言い出したのです。そして彼らは、日時を決めました。そこで主が、エレミヤ29章（書記注:8~10節参照）で言われました。

「彼ら偽預言者たちを信じるな。」

「占い師たちを信じるな。」

「星や月、太陽を読み解くものを信じるな。」

「あなたがたは、主が定めた時に戻るのだ。」

この時、70年とはっきり数字が与えられていたにもかかわらず、まだ偽預言者がいたのです。それなら、その数字が明らかにされていない時は、どうであるか想像できませんか？私たちがここを去るその日その時は、

誰も知りません。御使いも知りません。ただ御父だけが知っている、とイエスはマタイ 24 章（書記注:24:36 参照）で語られています。ともかく要点は、期間を知らされていても、多くの偽預言者が現れたのです。それなら、時期を知らされていない現在、どれほどの偽預言者が現れているか、想像出来ませんか？あまりにも多くいます。多すぎます。ですから、どうか偽預言者にはついて行かないでください。ただ期待して、ワクワクしながら待ちましょう。私をご存知の方ならお分かりでしょうが、教会の携挙が今すぐにでも起こる、と私は信じています。それは、今までにないほど近づいている、と私は信じています。それでも、重々気をつけなければなりません。私たちの周りで起こっている事の全てが、それは明日だとか、明後日だとか、直接告げるものではありません。事実、私たちは2秒後に起こっても良いように、備えていなければなりません。もし、それが2秒後に起こるなら、私たちは備えが出来ていなければなりません。私たちは、携挙がすぐにでも起こることでワクワクしているべきですし、備えが出来ていなければなりません。日時を定める罫に嵌ってはいけません。

ということで、アメリカ大使館は2018年5月14日に正式に移転します。今から2ヶ月半後です。これはすごい事です。素晴らしいニュースです。ただ、最初にも言いましたが、パレスチナはこれが気に入りません。そして、トルコのスルタン・エルドアン大統領もまた、「これは平和への妨げだ」と声明を発表しました。驚きませんか？他の人たち、エジプトは何も言っていません。ヨルダンもサウジアラビアも、湾岸諸国も何も言いません。唯一、聞こえてくるのは、ロシア、イラン、トルコです。現在、同盟自体が出来上がりつつあるのです。このように今、物凄い事が起こっています。

もう一つ、皆さんにお伝えしておきたいのは、ロシアは公式に

「シリアは、我々の最新武器の実験の場である」

と発表しました。彼らは、世界の他のところでは一切戦争をしていません。そこで彼らは、自分たちの最新の戦争用の武器をシリアに持ち込んで、シリアで実験を行なっているのです。我々が最後に見たのは、これから行われる、スホイ 57 ステルス戦闘機です。スホイ 57、SU57、これはこの戦闘機では5代目で、最大200km先の標的に命中させることが出来る、射程距離200kmのロケットを搭載可能です。これは、現在アメリカが開発したF-22の射程距離のほぼ二倍です。ですから、ロシアは現在、シリアでかなりな事を行なっているのです。皆さん、理解しておいてください。我々イスラエルが、これらのSU57を探知したのです。なぜ、イスラエルがそれを探知したかといえば、イスラエルにはEROSと呼ばれる衛星があつて、それにはImage Satと呼ばれるものがついています。そして今日、公開された写真が、シリアのフメイム空軍基地で——ここは、二ヶ月半ほど前に、アサドがはるばるプーチンに会いに訪れた空軍基地です（書記注:2017年12月16日アップデート参照）。その様子は皆さんにもお見せしたと思いますが、ロシアの大統領によって彼が屈辱を受けた所です。ここは地中海沿岸で、ロシアは、ここ以外ではこのような戦闘機は実験できません。シリア以外で、現在ロシアが関わっている戦争は他にありませんから。そこで彼らは、それらをあちらに持って行って、現在シリアでその実験を行なっているのです。これは、とんでもない事です。皆さんに言うておきますが、先ほども言った通り、SU57は5代目のスホイ戦闘機で、シリア国内には既にスホイ35、スホイ25があります。そして、これも先ほど言った通り、ロシアの航空宇宙産業が開発した最新の戦闘機で、それが今、シリアにあります。それが約4機あり、シリアの標的で実験しています。

もう一つ、皆さんにお伝えしておきたいのは、ダマスカス東部の郊外で起こっている事に関する、国連安保理内のシリア非難を、ロシアが全て遮断しています。40万人のスニ派イスラム教徒たちが現在、惨殺、大量殺戮されているのに、世界は何も言いません。100人以上の子どもたちが殺されました。私には、全く理解できません。今日、私が見たものには、心が引き裂かれそうでした。私はアラブのメディアをフォローしているので、あちらで起こっている事をいろいろと知っています。世界はそれに対して、全く無関心です。国連、ヨーロッパ、その他の世界もそれについて一切何も言いません。唯一、助けを呼び求めているのは、地元の人たちで、彼らは自分たちの携帯電話を使って伝えているのです。非常に心が痛んだ動画は、父親が、死んだ2歳の我が子を、最後にもう一度抱きしめたいと願っているもので、子どもたちの遺体を積んだ車から我が子の遺体を取って、ただ最後にもう一度抱きしめようとしているのです。これを見て、本当に胸が張り裂けそうでした。お見せするには、最善の方法ではありませんが、出来るかやってみましょう。ちょっと待ってくださいね。ありました。今から、電話をこちらに向けてお見せします。

(携帯のカメラをノートパソコンのスクリーンに向ける)

これです。死体でいっぱいの車から、彼は我が子を抱き上げて、最後に抱きしめているのです。子どもを連れて行かれる寸前に、最後に抱きしめるためにです。実に、心が引き裂かれるような事が、あちらで起こっているのです。しかし世界は何も言わず、全く無関心です。あちらで起こっているご都合主義は、イスラエルが攻撃から防衛すれば、

「イスラエルは、何もしてはいけない！」

と世界は言い、それなのに彼らが自国民を惨殺すれば、皆、それは構わないのです。我々イスラエル人にとっては、これは心が引き裂かれるような事です。イスラエルの中は、現在素晴らしいです。しかし、ダマスカスの東側郊外で現在起こっていることは、極悪非道をはるかに超えています。あの地域の人々にとっては、地上の地獄ですよ。4~5日も経たないうちに600人が死に、その内の100人は子どもたちです。

世界は何をしているのですか？私には全く分かりません。私には、全く理解できません。これは滅茶苦茶です。

そして現在、バッシュール・アサドと、トルコのスルタンの間で、新たに小さな戦争が起こっています。シリア北部の飛び地アフリーンです。トルコがそこを包囲していますが、バッシュール・アサドがその中にどんだん部隊を送り込んでいて、エルドアンはそこを爆撃し、大量に殺害しています。ということで、この48時間の間に、この戦争も継続中です。

「ダマスカスが滅ぼされているのか？」

「イザヤ書17章を目撃しているのか？」

とよく聞かれますが、皆さん、ダマスカスは国民の手で滅ぼされています。

もちろん、ダマスカスが完全に滅ぼされる時は、このようなものではないとは思っていますが、残念ながら、彼らは既に自分たちの町を滅茶苦茶に滅ぼしています。イスラエルは、強烈な武器を使わない限り、ここまでは出来ません。

皆さん、以上です。残念ながら、全てが良いニュースではありませんでした。大使館の移転は、素晴らしいニュースですが、シリアで現在起こっていることは、とんでもないニュースです。あちらでのロシアの介入、現在あちらで起こっている事に関して、国連に手出しをさせないようにするロシアのやり方には、吐き気を催します。世は恥を知るべきだ、と言う以外に何と言って良いのか、言葉もありません。国連も、恥を知るべきで

す。狂っているにも程があります。私は、状況を理解したいので、これらを見るのは止めたくありませんが、それでも心が引き裂かれます。

最後に、皆さんにお伝えしたいのは、4~5日前だったかと思いますが、ヒズボラが動画を公開しました。その中で彼らは、

「イスラエルが地中海沖に建てた石油採掘装置と、ガス採掘装置を破壊する」と言っています。

皆さん、理解しなければなりません。

政治については、いくらでも話ができます。

しかし、ガスと石油の話になると、中東の戦争は、ここから始まるのです。

これが全てです。

ロシアを中東に引きずり込んだ、顎の鉤は「石油とガス」です。

エルドアンを中東のシリアに向けて引きずり込み、今、彼はキプロスの方を見ているのですが、顎の鉤は、発見された「石油とガス」です。

そして、これにイランが関わっていることは、私たちの知っている通りです。

もし我々の石油採掘装置や、天然ガスを採掘している場所に何かが起こるなら、恐らくそれはイスラエルが認める事のない「レッドライン」(越えてはいけない一線)となるだろう、ということは理解しておいてください。それが、エゼキエルが伝えている戦争への引き金になるのだろうか？と私は思わずにはいられません。そうかも知れません。その可能性は高いでしょう。それによって、彼らが攻めて来るのかも知れません。それによって、私たちが「もうそれまでだ」と言うのかも知れません。

以上です。短かったですね。

祈っててください。

ダマスカスの人々のために祈っててください。

これら全ての暴徒たちに取り囲まれて、動けなくなっている人々のために祈っててください。

彼らがイエスに出会うように、主に出会えるように祈りましょう。

彼らには、希望が必要です。あちらには、全く希望がありませんから。

あの人たちにとっては、地上の地獄です。

それから、イスラエル人の救いのためにも、お祈りください。

今日、バスの中で、ある人に

「もし携拳がそれほど近いなら、神は最後に大きなリバイバルを起こしてくださると思いますか？」

と聞かれたのですが、もし神の民がそれを願い、それを祈り、そしてそのために頑張るなら、神はそれを尊重してくださる、と私は思います。もし私たちが何もせず、ただ携拳の時を指折り数えて過ごすなら、福音を伝えもせず、自分たちの殻を打ち破って何かをしないうら、それはないでしょう。しかし、

**7 求めなさい。そうすれば与えられます。**

(マタイ 7:7a)

33 …神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えら

れます。

(マタイ 6:33)

だから、リバイバルを願うなら、リバイバルを求めなければなりません。リバイバルのために祈る。そうすれば、私たちがここを去る前に、リバイバルを目にするでしょう。私たちには目覚めが必要ですし、リバイバルが必要です。私たちは、このようなものを祈らなければなりません。もちろん、イエスに来てください、と願うことは悪い事ではありません。聖書にも

20 …主イエスよ、来てください。

(黙示録 22:20)

とあります。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

私たちは、主に来てほしいと願います。ですから、私たちは主が来てくださるよう、人々が目覚め、リバイバルが起こり、そして肉体的に私たちを取り去ってくださるよう願うのです。聖書には第二ペテロ 3 章でこう告げています。

9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

(第二ペテロ 3:9)

つまり、神は人々が地獄へ行くには定めておられない、神は皆が救われることを願っておられる、ということです。もちろん、神は全知ですから、全員がそれを選ばないことはご存知です。しかし、神は、皆が救われてほしいと願っておられるのです。一部の人だけが救われ、誰かが救われない、なんてことは神は願っておられません。神は、全ての人を救いたいのです。

16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。

…教会だけではありません。… それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ 3:16)

ですから、どうか皆さん、この終わりの時、自分の殻を打ち破って、外に出てください。福音を伝えてください。そして、備えをしてください。あなたの人生は、備えが出来ているべきです。あなたの家族も、友達も、準備が出来ていなければなりません。声を上げることを、恐れなくてください。今は終わりの日々、最後の時です。時々、私はペテロがイエスを否定したことについて考えるのですが、時として「主を知らない。」と口で否定する必要はなく、「主を知っている。」と言わないことで、十分に主を否定することも出来るのです。それもまた、別の形の否定です。

ですから、皆さん、声を上げましょう。そして、Watchman/見張り人であることを覚えていてください。見張

り人は、声を上げることが求められています。何かを言うことを求められています。皆さんは高い所にいて、見張り、これから起こることを知り、理解して見ているのです。皆さんが人々に警告を与えなければなりません。声を上げなければなりません。私たちは、城壁の見張り人にならなければなりません。

ということで、ご視聴いただきありがとうございました。ガリラヤ湖近くより、短いアップデートでした。最後に、アロンの祝福で終わらしましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיִתְנֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超える平安、その平安が、シリアにはないのです。彼らは、イエスを知らないからです。これは、世が決して理解出来ない平安で、いつの時代も、どの場所でも、平和の主だけが与える事の出来る平安です。

次の週も私たち全員が、これを得るように祈ります。

ありがとうございます。God bless you!

ガリラヤ湖より、シャーローム！